

# 高地の暮らし

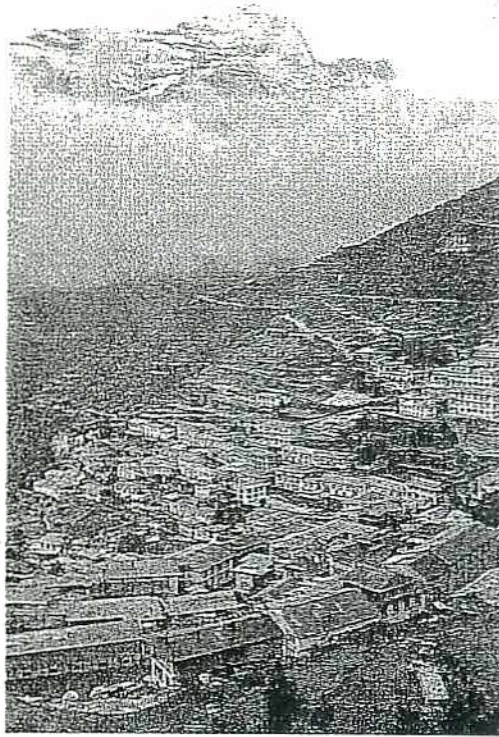
## ヒマラヤの人々

3

# ネットカフェ並ぶ村

傾斜のきつい登山道を 440段(にたどりつ  
 歩き続け、もう勘弁して く。山腹のわずかな平地  
 ほしい……と思うころ、 を基点に、民家やロッジ  
 エベレスト山麓で最大の の家並みが田形劇場のよ  
 村ナムチエバザール(3 うに広がる。

8千峰を目指す本格 登山派も、ヒマラヤを眺 電子メールを送る。  
 めに来たトレッキング派 も、とりあえずここで足 を休め、村に6店あるイ  
 ンターネットカフェから 「ヒマラヤに着きまし  
 た」 99年に開いたアン・テ



①平地に建物が並ぶナムチエバザール②ネットカフェを営むアン・テンジンさん(いずれもネパール東部で、富岡史穂撮影)

ンジンさん(29)の「エベレスト・カフェ」が最古  
 参だ。壁沿いに6台のデスクトップ型パソコン。

30年ぶりでナムチエに投宿した名古屋大の安成哲三教授(気象学)は「ロッシが増えただけでなく、電気がついて、熱いシャワーも浴びられる。まったく違う村みたいだ」と目を丸くした。

1分で10ネパールルピーという料金は、絵はがき1枚20と比べると、けっこう高い。だがパソコン3台で開店したときは1分25だったという。

「経済成長って、雇用を増やすけど、ごみと汚染も増えるよね」と肩をすくめるアン・テンジンさんは、村から見える山々の積雪が、ここ10年で薄くなったのが気がかりだ。「ごみの処分法とか、森を守るために薪を節約する工夫とか、観光客も地元の人と一緒に相談したらいいと思うんだ」と

「他の店が増えてからは値下げ合戦。うちは香港のネット会社の技術サポートを受けて、営業努力もしていますよ」と語る。今月、現地調査の折に